

外来診療予定表

● 受付時間〈8:00～11:00〉まで（予約されている方は除く）

令和3年8月1日付

科名	担当	月	火	水	木	金
整形外科	新患	隈	宮崎	休診 (手術日)	隈	隈
	再来	隈	宮崎・隈		隈	隈
泌尿器科	新患・再来	藤田	石川	藤田	藤田	休診 (手術日)
		瀬治山	瀬治山	瀬治山	瀬治山	
心臓外科	新患・再来 (予約制)	岩田	休診 (手術日)	岩田	岩田	休診
耳鼻科	新患・再来	松永	松永	松永	休診 (手術日)	松永
	アレルギー			(14:30)		
脳外科	新患・再来 (予約制)	森重	休診	休診	肥川 (第1)	休診
					久保 (第2)	
					森重 (第3・4・5)	
皮膚科	新患・再来 (予約制)			大分大学		
形成外科	新患・再来 (予約制)		大分大学			
放射線科	再来					松本

科名	担当	月	火	水	木	金
内科	循環器	赤峰	柳井	赤峰	柳井	柳井
		西水	西水			西水
		田原				
	消化器	児玉	野口(地)	児玉	児玉	野口(地)
					野口(地)	
	血液			本田		本田
	内分泌					野口(貴)
	呼吸器	竹野				橋本
	腎臓			福田		工藤
	肝臓外来		寺尾 (14:00)			
血液外来	奥廣	長松		奥廣		
外科	新患・再来	武内 (裕)	藤井 岳藤	休診 (手術日)	藤井 岳藤	武内 (裕)
	乳腺外来 (予約制)	武内(秀) (第1・3・5)				
	小児外科 (予約制)			大野 (第1・3)		
	総合診療	新患・再来	秦	休診	秦	休診

※医師の都合により変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。



蒸し暑い日本の夏は過度の発汗による熱中症の危険と常に隣合わせです。新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの装着が必要な今、忘れちゃいけないのが熱中症対策です。マスクをしていると喉の渇きを感じにくくなります。喉が渇いていなくてもこまめにちょこちょこ水分補給を意識しましょう（水分や塩分の摂取に制限がある方は主治医に相談しましょう）。

感染者は減少してきましたが、まだまだ油断大敵!! 引き続き、面会制限、体温測定、手指衛生等の感染対策へご協力をよろしくお願いいたします。

南海医療センター 感染対策室

編集後記

2021年8月 長い梅雨の後に暑い夏がやってきました。マスクの生活も2年目を迎えました。夏はやはり暑いですね。

新人研修は、1年を通して行われます。受ける新入職員も指導する先輩達も共に学ぶことの多い研修です。3月までともに成長しながら学びを深めていきます。



medical care information
なんかい
プラス



看護師 新人研修

当院では、新人看護職員研修ガイドライン到達目標を達成するために、年間の教育研修計画を作成し、実施しています。研修内容は、主に集合研修及び、eラーニングシステムによる研修です。看護基礎技術研修においては、昨年度、新規購入した人体模型や擬似腕を使用し、より実践に近い研修を実施することができています。

今年度より、「新人看護職員卒業臨床研修委員会」（以下委員会）を発足しました。この委員会は新看護職員が自身の役割と責任を認識しながら、看護師として成長できるように支援していくことを目的としています。委員は、新人看護職員の成長過程を見守りながら、プリセプター

やエルダーと情報を共有し、実地指導を行っています。大切にしていることは、新人職員個々の個性の尊重です。その方法の一つは、“よく聞き、よく話す”ことです。会話から良いコミュニケーションを図っていき、ともに成長していきたいと考えています。

今年度4月には、9名の新人看護職員と2名の規則看護職員が入職しました。初心者マークを付けた看護師たちを今後も見守っていききたいと思います。

看護部 教育委員会 姫野 千恵
正田八千代
三原 直子



南海医療センター

JCHO (ジェイコー) 〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8 <https://nankai.jcho.go.jp/>
TEL 0972-22-0547(代表) FAX 0972-23-4083



副院長就任 あいさつ

南海医療センター副院長
兼 健康管理センター長

みぞぐち
溝口 哲

2021年4月より副院長になりました。今までの健康管理センター長の仕事と兼任です。佐伯市自体がダウンサイジングしていく中で、佐伯市の医療も

当然ながらダウンサイジングしていきますが、医療レベルを下げずにダウンサイジングしていけば、患者さんは、不利益をこうむることはありません。通常の診療も健診業務も将来は現在より少ない人数のスタッフでやっていく形になる可能性が高く、それに備えて、医療スタッフ一人あたりの仕事の種類と仕事を減らしていく必要があります。診療所と病院のどちらでも、日本の医師、看護師等の医療スタッフは通常の先進国の倍以上の種類と量の仕事をせざるを得ない現状です。効率的な電子カルテへの改良や医療スタッフ以外のサポートメンバーの仕事を増やすことで、何とか医療レベルを維持しながら、医療スタッフの仕事の種類、仕事を減らしていけたらと考えています。

緩和ケア認定看護師紹介



今年度より緩和ケア認定看護師として活動させていただいています。

現在は院内の様々な職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリセラピスト、MSW）で構成される緩和ケアチームのメンバーとして主に活動しています。緩和ケアは身体的苦痛（痛み・だるさなどの体のきつさ）、精神的苦痛（不安、いらだちなどの心のきつさ）、社会的苦痛（治療、仕事や金銭、介護や家族・人間関係などの気が

かりや心配）、スピリチュアル（苦悩）を和らげ、患者さんが、その人らしく穏やかに治療・療養生活を送りQOL（生活の質、生命の質）の維持・向上を支援する、病気と診断された時から始まる医療ケアです。

私自身もまだスタッフや患者さん・ご家族から学ぶことも多いですが、その人らしさを大切に緩和ケアが実践できるようがんばっていきたく思います。少しでも体や心のきつさや何かの気がかり、心配事、困りごとがあれば、ぜひ気軽にお近くのスタッフへご相談・お声かけ下さい。今後よろしくお願い致します。

あかみね ゆうこ
緩和ケア認定看護師 赤峰 裕子

新任医師紹介



医師からのコメント

循環器内科医師として6月から異動しました。まだまだ未熟ですが地域のみなさまの支えとなれるよう努力して参ります。

新任医師が着任しました。

あかみね こうしろう
循環器内科医員 赤峰 康史郎

“第32回 大分NST研究会” WEB形式で開催



栄養面のサポートを通して、日々の診療に役立てていきます



第32回大分NST研究会が令和3年6月19日(土)14:30~17:30に「高齢者の栄養管理」をテーマとして、当院が当番世話人となりWEB形式で開催されました。

9名の方の一般演題では、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、検査技師や佐伯市の地域からは老人ホームの施設長、調剤薬局の薬剤師と本当に多職種の方々から発表いただきました。当院からは3名が発表しましたが、事前に音声録音したものを当日流す形であったのでデータのやり取りにも苦労しました。発表内容は充実しており聴講された皆様には日々の診療に役立つものであったと思います。

特別講演では、当院病院長森本章生先生を座長として、沖縄からONLINEでちゅうざん病院副院長吉田貞夫先生に「2021年 高齢者のケアと栄養サポートの将来を考える」というテーマでお話しいただきました。高齢者の栄養サポートに必要なアミノ酸、中鎖脂肪酸、亜鉛といった栄養素について科学的根拠を用いて説明されました。また新型コロナウイルス感染症の低栄養や味覚異常にも取り組まれておりデータの分析を用いて伝えて下さいました。ユーモアあふれる話し方で1時間の講演があつという間で、参加者の皆様から「おもしろかった」と声をかけていただいたことが大成功の証だと思っています。

NSTとは...

NSTは栄養(Nutrition)サポート(Support)チーム(Team)の略であり当院では2004年から入院患者の低栄養に取り組んでおります。患者さんと治療を支援できる栄養を考えるチームでありたいと思って活動しています。NSTが南海医療センターにあることを地域の皆様に知っていただき、困ったときには声をかけていただけようこれからも活動を続けたいと思います。



(2018.11)



(2018.11)



「糖尿病療養指導士」をご存じですか？

糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator :CDE）とは、糖尿病とその療養指導全般に関する専門知識を持って、糖尿病予防や、糖尿病を持つ方の生活を理解し適切な自己管理や療養を指導する医療スタッフのことです。

CDEには、日本糖尿病療養指導士（CDE J）とそれぞれの地域で活動する地域糖尿病療養指導士（LCDE）がいます。大分県では、22年前からLCDE認定機構を立ち上げ、現在では500人以上の仲間たちが、あらゆる場所で活動しています。

南海医療センターでは、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など様々な職種の指導士13名が、インスリン自己注射や血糖自己測定の導入時の指導や教育に携わっています。

また「看護の日・1日まちの保健室（5月）」に参加したり、世界糖尿病デーに関連した「南海健康祭り（11月）」などのイベントを企画したりと糖尿病の啓発活動を行っています。



(2018.11)